

カリキュラム Curriculum	文学研究科MC		ナンバリング Numbering	
番号 Number	科目種別 / 学科目 Course title	転用科目 Substitute for		種別 Subject type
1203	サンスクリット文献学 <Sanskrit Philology>			演習
専攻 Major	担当教員 Instructor(s)		開講期 Semester	開講時間帯 Day and time
インド文学	和田 壽弘(WADA Toshihiro)		前期	月曜：4限
講義題目 Title	『ヒトーパーデーシャ』研究			
単位 Credit	2			
備考 Others				
履修条件 注意事項 Requirements for registration	サンスクリット初等文法の知識を必要とする。			
授業の目的 Purpose	<p>インド仏教思想における叙事詩『マハーバーラタ』は、インド文化の基層となる情報を含んでいる。この中の「バガヴァッド・ギーター」は思想史的にも重要な章であり、後のヒンドゥー教神学に大きな影響を与えた。この章を読解することにより、インド人の文化的背景を理解すると共に、宗教的な思考法を学ぶ。これは「社会」に必要な哲学的宗教学的素養を培うことになる。併せて、『ヒトーパーデーシャ』も平行して読み、インド文化の包括的理解をめざす。</p> <p>The aim of this course is to help students acquire the knowledge of Indian culture by reading basic Sanskrit texts such as the Bhagavad-gita and the Hitopadesa.</p>			
授業の内容 授業の方法 Content	<p>「バガヴァッド・ギーター」の文化的側面を押さえて、サンスクリット原文を演習形式で読み進む。文法事項の理解を確実なものとしつつ、歴史上最初の註釈書であるシャンカラ註（8世紀頃）も使いながら、解釈方法を習得する。</p> <p>授業計画 第1回：序論 第2回：「バガヴァッド・ギーター」の先行研究 第3回：「バガヴァッド・ギーター」第1章から第9章までの概要 第4回：「バガヴァッド・ギーター」第10章前部講読：世界の根源としての神 第5回：「バガヴァッド・ギーター」第10章後部講読：世界における神の諸相 第6回：「バガヴァッド・ギーター」第11章前部講読：神が示す姿 第7回：「バガヴァッド・ギーター」第11章中部講読：人間が見る神の姿 第8回：「バガヴァッド・ギーター」第11章後部講読：神の姿の賞賛 第9回：「バガヴァッド・ギーター」第12章講読：神への専念と帰依 第10回：「バガヴァッド・ギーター」第13章講読：身体と魂との関係 第11回：「バガヴァッド・ギーター」第14章講読：知と三質（グナ）との関係 第12回：「バガヴァッド・ギーター」第15章講読：神と輪廻する人間との関係 第13回：「バガヴァッド・ギーター」第16章講読：神に導かれた生活 第14回：「バガヴァッド・ギーター」第17章講読：神への信仰とヴェーダ祭式 第15回：「バガヴァッド・ギーター」第18章講読と総括：神への信仰とカーストの義務 定期試験</p>			
教科書 テキスト Textbooks	A Sanskrit Reader: With Vocabulary and Notes, by Charles Rockwell Lanmann, Delhi: Sri Satguru Publications, 2010. (First published by Harvard University Press in 1884)			
参考書 References	<p>上村勝彦『バガヴァッド・ギーター』岩波文庫、1992。 上村勝彦『バガヴァッド・ギーターの世界』ちくま学芸文庫、2007。 赤松明彦『バガヴァッド・ギーター』岩波書店、2008。 ナーラーヤナ著『ヒトーパーデーシャ』、金倉圓照・北川秀則訳、岩波文庫。</p>			
受講生の 自宅学習 Preparation and review	文法事項を中心とした予習が必要である。			

成績評価の方法と基準 Evaluation	筆記試験。
連絡方法 Contact information	E-mail: twada@lit.nagoya-u.ac.jp Phone : 052-789-2278